

星亨<sup>（通称）</sup>政治家。嘉永二年四月十四日江戸生れ、明治二十四年六月（二十一日）自決（ハキョー）（一九〇一）。幼名廣吉、登。醫名泰玄、舊名小泉昇。神奈川奉行所附屬並立學校、幕府開成所の學ぶ。明治五年大藏省入省、次<sup>（ついで）</sup>のイギリス大留學後代言人免許取得、十六年の福島事件、二十年の大阪事件の辯護人となる。この間自由黨總理諮問に任じ「自由燈」發刊。二十五年衆議院議員、同議長。爾後駐米公使、逓信相を経て東京市議會議長在任中伊庭想太郎に刺殺せられた。

著書に『政治社會大家演說集』（他八名合著、明治二十五年十一月古澤寛大郎編輯、一書房發兌）、『感舊錄』（愛澤寧堅・河野廣中合著、大正二年十一月愛澤寧堅引、無刊記）等。文獻に、正岡藝陽著『時代思想の權化―星亨と社會』（明治二十四年六月、一分新聲社）、仙河隱士著『怪傑星亨―附刺客論』（明治二十四年七月、二十五日東館）、『伊庭想太郎公判録』（明治二十四年九月十五日日本館本店）、『刺客伊庭想太郎公判始末』（明治二十四年九月、二十一日萬字堂）、鈴木武史著『星亨―藩閥政治を揺るがした男』（昭和六十二年一月、二十五日中央公論社「中公新書」）等。

